

トーンキングロード
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第20回〕

夢の酒

+ 文 林家木りん Text by Kirin Hayashiya +

自粛が明けてこれからという時に、新型コロナウイルスの第二波？らしきニュースや舞台などでもコロナ感染などの情報を耳にします。

ありがたいことに落語界ではいまだ、演者やお客様を含めコロナ陽性者が出ておらず寄席などはソーシャルディスタンスを保ち営業しています。

なぜ感染者がないのか僕なりに考えてみたのですが、やはり秘訣はちゃんとしたコロナ対策予防、そして笑いにありだと思えます！

お客様は落語家の嘶やマクラを聴いて「あはは、あはは」と笑ってください、また落語家も楽屋ではくだらない世間話をして笑ってばかり！

笑いが免疫力を高めていると思われ
ます。

師匠木久扇と木久蔵兄さんがある病院に落語で呼ばれ「笑いは免疫力を上げるのか？」という企画をリウマチ患者さんの前でされたところ落語を聴いた後では数値が良くなるという結果が得られたそうです。

また昔からことわざで「笑う門には福来たる」なんてのがるように笑っ

ていれば自然に幸運が訪れると思えますので、こういう時だからこそたくさん笑いましょう！

ただ今は落語会が減っていて、なかなか生で落語を聴いてもらえる機会が減っています。絶対生で聴くのが一番ですが、落語家も世の中に合わせなくてはならないみたいでして、YouTubeなどで落語生配信をしている落語家が増えていて気軽にご覧いただけます！（ちなみに僕も9月10月に生配信落語をする予定です）

コロナが終わったらずせひ落語会に足を運んでいただけたらと思います。そしてお仕事に呼んでいただけましたら幸いです！

今回ご紹介する落語は「夢の酒」という僕の好きな嘶。

若旦那がコタツで夢を見ていると、女房のお花が通りかかり、風邪をひかれては困るので若旦那を起こすとやけに機嫌がいい若旦那。訳を聞くと、夢の中で夕立に遭い、困っているところを美女にもてなしてもらったあげく、具合が悪いと横になっていると、美女

が隣に来る…というところで目を覚ましました。

若旦那のいやけ具合に嫉妬し怒るお花の声を聞きつけ、父親である大旦那が仲裁に。夢だと言いつけられるも、怒りが収まらない様子のお花に頼まれて、夢に入って若旦那に手を出さないように言い聞かせるよう頼まれます。

さあこの後は…生の落語でお楽しみください！

YouTube 林家キリンチャンネル
～ときどき立川かしめ～
<https://www.youtube.com/channel/UCtibQ2n7oEC4mPR75Nd-3A>


profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。
2009年林家木久扇に入門
2013年二ツ目昇進。
身長192cmと、落語協会一の高身長！
趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。
空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。
初の著書『師匠!』発売中

